

月刊みどりんぐ 5月号

【ハミングベル緑橋】大阪市東成区中本 1-11-1 ☎06-6971-8838 発行責任者：センター長 松野卓也

認知症対応型デイサービスセンターにここにこ

マスク作りに挑戦

現在、品薄で手に入らない使い捨てマスク。しかし感染拡大防止のためマスク着用は必須。ならば作っちゃおう！という事で使っていないハンカチや生地を持ち寄り手縫いでマスク製作を行っています。最初は布用ボンドで作っていたのですが、主婦歴の長いご利用者様達は「そんなん使わんでも、縫うたげるわ。」と仰って下さり針と糸を渡すとどんどんと縫い進めておられました。



男性も挑戦！！

難しい...



作ってくれてありがとう



「ここは平縫いで。こっちは袋縫いの方がきれいに出来るわ。」と利用者様同士工夫しながら出来上がったマスク。お渡しすると「次、来るときに着けてくるわ。」と仰って下さいました。また、お裁縫が苦手な職員の分も縫って下さり、「1枚1万円やで〜。」と冗談で場を和ませてくださる方もいらっしゃいました。

グループホーム「音々」ねね

お誕生日おめでとうございます☆

4月27日グループホームでは、お誕生日会を開催しました。娘様もお祝いに来て下さいましたが、施設の玄関先でプレゼントを受け取り、記念撮影しました。

玄関で娘様と



グループホームの入居者様と職員で「ハッピーバースデー」の歌を歌い、職員の手作りケーキでお祝いした後は、プレゼント贈呈。ひと通りプレゼントの中身を確認し、いよいよ皆さんが待ちわびておられた、ケーキを食べる時間！
口々に「美味しい」と言ってお下さる入居者様に職員も笑顔になり、あつという間にケーキは無くなっていました(笑) 本当におめでとうございました。これからもお元気で！
いつも明るく笑顔で過ごされますように・・・。



お誕生日おめでとう

小規模多機能ホーム「楽々」らら

「手作りマスク」を作ろう!!

マスクがなかなか手に入らない今「手作りマスクを作ろう」との事でマスクを手作りしました。「昔は浴衣も縫うたよ」「昔は赤ちゃんのおしめも浴衣で手縫いして作ったねえ」「雑巾も手縫いしたね」「着せ替え人形の洋服も手で縫うたよ」などと昔話に花が咲きました。



上手にできました!!



縫うのが得意な利用者さんは針運びも早く手際良く縫って下さいました。また「私、縫うのは下手やから、布を切るわ。」「あとは得意な人にお任せするわ」と作業の分担もでき、それぞれが参加されました。「いいのができたわあ」「ここに来るときはこれして来るわ。」と皆さん嬉しそうに仰っていました。

季節の壁飾り

毎月、利用者様と職員で壁に貼る壁紙アートを作っています。アイディアを出す職員には少々生みの苦しみが。でも、皆でおしゃべりしつつ、あいだこーだと作り上げた作品は愛着もあり、前で写真を撮ったり、感想を言い合ったり。見た人からの評判も良いと嬉しいですね♪



桃の里

2008年9月15日に起きたリーマンショック。当時日本でもたくさんの方々が雇い止めになりました。私自身も、勤めていた会社からリストラされ、まさに青天の霹靂。考えた末に、小さい頃から興味があった介護の世界に飛び込む事となりました。スーツとハイヒールはジャージとスニーカーへチェンジ。周りからは「ええっ!なんで?」とよく不思議がられました。今は日々忙しくお仕事をさせて頂いていますが、最近の情勢を見るにつけ、あの時の決心は間違っていないかったと思っています。

宮崎・齋藤

広報担当▼日高・中西・米澤



みどりんぐカフェは
しばらくお休みとさせて頂きます



新型コロナウイルスの状況次第で再開します。また、お会いできる日を楽しみに・・・